



第 394 号
発行 2023年3月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

「どうする？これから医療」



医療法人 葡萄の木
理事長 崔 承彦



社会福祉法人めぐみ厚生センターに

関わるみなさまこんにちは。医療法人

葡萄の木理事長の崔承彦と申します。

めぐみ厚生センターが佐賀地域の福祉

事業に長い間多大な貢献をされている

ことに心より敬意を表します。そして、

二〇二一年より「めぐみ園」の産業医

ならびに嘱託医として関わらせていた

だいでいることを感謝申し上げます。

はじめに簡単に自己紹介をさせてい

ただきます。私は祖父母が朝鮮半島よ

り来日した在日三世です。福岡で生ま

れ、キリスト教の牧師であった父の赴

任先の熊本で中学高校時代を過ごし十

八歳で佐賀医大入学を機に佐賀へ移り

住みました。一九九三年に卒業後、佐

賀大学医学部附属病院総合診療部に入

局しました。その後大学病院や好生館

での研修、北海道幌加内町での僻地医

療などを経験し、二〇〇一年より佐賀

の地域に根ざした医療に携わるように

なりました。そして二十四年間の勤務

医を経て二〇一七年に総合診療部の先

輩医師より医療法人アールアンドエー

を事業継承し、佐賀で在宅医療に従事

するようになりました。翌年「医療法

人葡萄の木」と改称、クリニック院長

に同じ総合診療部出身の同級生・山本

巻一医師を迎え、二〇二〇年には佐賀

市水ヶ江に「ぶどうの木クリニック」

を開設しました。現在までに「訪問看

護ステーションぶどうの木」を含め百

名を超えるスタッフと共に、約六五〇

名の訪問診療の患者様を担当する「在

宅医療」を開設しております。

さて、今回のめぐみ園とのご縁は十

時忠秀先生を通じてのご紹介からでし

た。思い返すと、私のめぐみ厚生セン

ターとの最初の接点は、佐賀医大の学

生時代にありました。一九八八年ころ

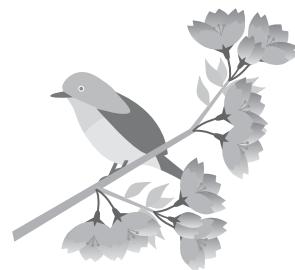
だったと思いますが日本キリスト者医

科連盟総会が佐賀で開催された際、大

学のクリスチヤン先輩医師であつた十時忠秀教授、平田道彦先生、そして白浜雅司先生らに駆り出されお手伝いをしたのがきっかけで、そのすぐ後に平田道彦先生の結婚式が佐賀めぐみ教会であり、参席させていただいたことを思い出します。また、平田道彦先生や白浜雅司先生はお忙しい中、学生サークルの聖書研究会で聖句の解釈と共に考える時間をもつて下さいました。私が総合診療部を選んだのは、先輩医師の話を学生時代からお聞きした影響も大きかったのだと思います。

私は幼いころから慣れ親しんだ聖句に支えられながらも医療の現場で迷う時は、解釈を深めつつ思い感じることができます。学問としての医学と、事業としての医療は違います。医療は場所によってやってるべき事、求められる事が違うのです。それは在宅医療を始め、より実感しています。患者様の生活の場に入っていくと、その現場はまるで各々宇宙が違うのかと思うほど価値観の違いがありますし、根本的な考え方人がそれぞれ違うので求められる医療も違ってきます。エビデンスと言われる医学的研究で証明された「正しい医療」、教科書や学校や先輩から教わる様々な「ガイドライン」や「マニュ

アル」が全く役にたたない現場があります。規模の大小、立場の違いに関係なく、難しく複雑になればなるほど原点に立ち返ることが大事になってくる気がしています。原点とは何でしょ。めぐみ厚生センター理事長先生のお便りを読ませていただきと必ず「隣人を愛せよ」の理念を繰り返し唱えられています。素晴らしいと思います。立ち返るべきはただひとつ、シンプルな真理だと思います。しかし簡単そうで難しいです。人類の歴史をみてください。それは戦争の歴史です。現代でも相変わらず人間は戦争により勝者と敗者を決めようします。偉い人たちが世の中のトップになるはずですが、いつの間にか人を殺すことが正しいことになってしまいます。小さな一つ一つの判断にも大事な真理が抜けてしまふと、いつの間にか人殺しや戦争に行き着いてしまうのです。その中で改めて日本の歴史を見てください。戦国時代を制した徳川家康は二六〇年に及ぶ泰平の江戸時代を築きました。私は、人類が進化してテクノロジーが発展し、創造主が作られた自然の恵みをダイレクトに利用できるようになり、江戸時代のような循環社会が実現して、経済の発展は無意味になり、人々は弱者を守る



ことを生業とし芸術や文化を謳歌する、そういう世界が好きです。二六〇年続いた江戸時代のような社会がいかにして出来上がったのか？そこで毎週大河ドラマ「どうする家康」を楽しみにしています。日本はいま世界一、前人未踏の高齢化社会を経験しています。すなわち私たちが現場で実践している社会福祉事業は人類が経験したことのないチャレンジです。世界が「どうする日本」と注目しているのではないでしょう。老いや病、障害を持つすべての人々に健康と文化的な生活を保障する「隣人愛」を実践する「医療介護福祉インフラの構築」には在宅医療が欠かせないと思い、医療法人葡萄の木はチャレンジを続けます。そしてこれからもめぐみ厚生センターのみなさまと共に歩んでいけるよう、ご指導のほどお願い申し上げます。



多くの方々からのご寄付、ありがとうございます！



一月一日(日)今年も残念ながらコロナ禍でのお正月となり、皆さんにご不自由をお掛けしている中、NHK歳末助け合い義援金を活用させていただき、大変豪華な昼食となりました。寄付をいただいた多くの皆様に感謝申し上げます！



歳末助け合い義援金
めぐみ園



楽しい時間を過ごされています



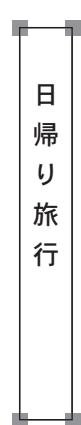
⇒本庄うなぎで
せいろ蒸し

ローソン移動販売！



ひな祭り
←焼肉ランチ温泉

二月よりコロナ関連で中断となつていた日帰り旅行が再開されました。当初行われていたクラス単位の旅行は難しくなりましたが、少人数で楽しめる形で皆さん、様々な所へ！同行した職員と共に楽しい時間を過ごせたようです。



日
帰
り
旅
行

コロナ関連で中止となつていたローソン移動販売が二月より再開されました！皆さん待ち望んでいた再開に大変、喜ばれていました。



富士学園

一月六日(金)富士学園で採れたさつま芋を使用して「芋会」を開きました。メニューは、スイートポテト・いきなり団子・大学いも・芋の天ぷらでした。利用者の皆様は笑顔で嬉しそうに食事を楽しんでいました。コロナ禍で制限された中で生活されておられますが、このような楽しい場を少しでも多く持てたら良いと思います。

た。避難場所で利用者の方が落ち着いて過ごしていくための環境整備などの必要性を感じました。



をお招きして、土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。

タイムラインの作成からご指導をいただき、避難開始のタイミング、職員の役割分担、情報共有手段などが明確になりました。



二月三日は『節分』、園芸科では豆まきを行いました。邪気を払い清め、一年間の無病息災を祈りつつ、数名の利用者様が鬼に仮装しながら作業倉庫内に入つて行くと「鬼は外、福は内」の掛け声のもと、豆を受け、鬼役の方々も時折豆をまき返し、皆様樂しみながら豆まきを行つておられました。

現在でも新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスが流行していますが、利用者様におかれましては大きな病気や怪我などもなく毎日元気に通所をされています。



福祉施設のいのちを守る避難訓練

一月二十七日

(金)に佐賀県福祉施設のいのちを守る災害対応力向上事業の一環で公益財団法人市民防災研究所の伊藤英司氏

ウイズ富士

豆まきで無病息災を

様、篠原晴義様が、チラシで箱作りに取り組みエリアのホームに配られ、大変喜ばれています。



岡奈緒子様はパズルに挑戦されています。ファイト!

ピースハイム金立の坂本猪三郎様は漢字、副島博様は、散歩、ピースハイム金立Ⅱの村

みんなの楽しみ♪

ピースハイム

聖句

イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによつて、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。

(ヨハネの手紙一 三章十六節)



利用者の皆さんも見学！

ふれあい

東与賀町民文化祭（めぐみ園）

二月十一日（土）から十二日（日）まで東与賀文化ホールで開催されていた東与賀町民文化祭に今年もめぐみ園の利用者、職員の作品を展示させていた

だきました！

二十歳のつどいに参加
(富士学園)

一月八日（日）二十歳を迎えた、藤澤勇太朗様と石井鉄影様が佐賀市富士公民館（フォレスターふじ）で二十歳のつどいの式典に参加されました。

当時は、好天に恵まれ、晴れの席にふさわしい日となりました。



スーツ姿がカッコイイ!!

ふれあい旅行
(富士学園)

全国的な新型コロナウイルス感染者の増加のため、一月からのふれあい旅行は、テイクアウトを行い、施設内にて食事会を行いました。外出は叶いませんでしたが、お店と同じメニューで皆さん大満足されたようでした。



何でもコーナー

今年の開花予想は？

三月も中旬となり、春の訪れを感じさせる日が多くなってきました。気象庁によると今年の佐賀市の開花予想日は三月二十二日。三月以降、気温が平均並みか高くなる見込みのため、予想より早い開花もあるとのことです。

今年の桜も、私達を楽しませてくれそうです！



～ 満開の多布施川沿いの桜～

あとがき

桜の季節を目前に控え、慌ただしい日々の中ですが、年度のまとめをしつかりを行い、新年度へ繋げていきました！

●めぐみ園へ
大井治夫様

寄付

皆様ありがとうございました
(一・二月分)